

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	北部州イースト・マンブルーシー郡において、2 歳未満児の栄養と健康状態が改善する。
(2) 事業の必要性 (背景)	(ア) 北部州における貧困と子どもの栄養状態： ガーナは、西アフリカにおける民主主義の牽引役として政治的・社会的安定を保ち、2010 年に一人当たり GDP が 1,300 米ドルを超え経済成長も著しい¹。経済成長に伴い、1992 年には 52%であったガーナの貧困率は 2003 年には 35%まで減少し²、2015 年には貧困を半減させるというミレニアム開発目標(MDGs)を達成した。しかしながら、地域格差の存在など多くの課題も抱えており、貧困の減少にはばらつきがある。慢性的に困窮している州（ノーザン州、アッパーウエスト州、アッパーイースト州）では、貧困状態が残存しており、ガーナの貧困層の約 40%の人々は、北部の上記過疎の州で生活している³。 ガーナ政府の掲げる政策としてその達成を目指してきた、ミレニアム開発目標の 1「極度の貧困の削減と飢餓の撲滅」の指標の一つである「5 歳未満児の栄養失調割合」はガーナでは未だ深刻な状態にある。ガーナ人口保健統計（2014 年）によると、5 歳以下の子どもの 19%が発育阻害（低身長）、11%が低体重、66%が貧血である⁴。近年の研究結果から、子どもの死亡要因の半数が栄養失調によるものであることも判明している。とりわけ、本事業の対象地域である北部州では、5 歳以下の子どもの栄養失調の状況が更に悪く、33%が発育阻害（低身長）、20%が低体重、82%が貧血であり⁵、同地の貧困率と連動していることが伺える。栄養失調は子どもの身体的成長への悪影響のみならず、精神的発達（認知能力）の遅滞を引き起こすことから、就学を阻む大きな要因ともなっている。教育を受ける機会を逸することは、成人後の社会的な脆弱性を高め、将来の貧困層予備群となることも懸念される。子どもの栄養状態の改善は、将来的な貧困の予防の点からも喫緊の課題であり、乳幼児期の疾病率・死亡率の減少、身体・認知能力の向上、学習能力の向上、肥満と慢性疾患の予防、生産性の向上などをもたらす、将来に亘り健康で実り多い人生を送る上で必要不可欠である。 (イ) 事業での取り組み： 本事業では、子どもの栄養改善には、両親を含めた保護者の果たす役割が重要であるとの考えに立脚し、保護者を主な対象に以下に取り組んでゆく。 ① 栄養啓発 (Awareness message：知識) と食習慣 (Feeding practice：行動) 本事業では、栄養教育係(Peer educators)、コミュニティ・ヘルス・ボランティア (CHV：Community Health Volunteer)、男性栄養啓発員の主に 3つのコミュニティのグループが中心となり、栄養普及要員として、乳幼児の保護者らを対象に広く乳幼児の栄養と健康に関する啓発メッセージを様々な場で発信し、保護者らに栄養に関する知識の定着を図る。 栄養啓発を通して学んだ栄養の知識を、実際の栄養改善に繋げるためには、日々の食事の摂取方法の改善が不可欠となる。栄養についての知識と適切な食事の摂取方法は、栄養効果をより高めるための車輪の両輪である。北部州では、アマランサスやローゼルやケナフ等、栄養価が高く、鉄分の豊富

¹ Ministry of Foreign Affairs in Japan

² GSS

³ MGD Report 2012, 2015

⁴ Ghana Demographic and Health Survey 2014

⁵ Ghana Demographic and Health Survey 2014

	な葉菜類の宝庫であるが、信仰やタブーや調理法の問題により、元々の栄養価が活かされていない。このため、5歳以下の子どもと生殖可能年齢の女性は一日の栄養摂取量に至らず、ビタミン不足とミネラル不足になっている。栄養状態の悪い女性の出産は、母子の死亡リスクや感染症への罹患リスクを高め、女性の健康を更に損ねるのみならず、産まれてくる子どもの健康状態にも悪影響を及ぼすことから、栄養失調の負の連鎖ともなる。本事業では、栄養啓発メッセージの発信と併せて、保護者らを対象に多様な食事の摂取方法を実演する。そして、栄養効果を高める食習慣を身に付けてもらうことで、子どもの栄養状態の改善に繋げる。また、後述する先行事業においては、2歳未満児の栄養改善のために導入してきた栄養補助サプリメント「ココプラス」を導入した。2015年10月には、栄養効果試験の最終報告会があり、ココプラス投与グループ、微量栄養素のみ投与グループ、非投与グループの比較において、ココプラスグループが最も効果的に、低身長を予防する傾向が認められた。ココプラスグループは他のグループと比較して、有意に貧血を予防する効果が認められた。この栄養効果の結果を受け、本事業でも「ココプラス」を継続的に導入し、様々な調理方法の紹介で、栄養価を付加する「ココプラス」の利用方法を併せて実演してゆく。 ②女性のエンパワメント： ガーナの農村部においては、女性は農作業にも従事し家事以外に重要な役割を担っている。しかしながら、伝統的首長制度にあり、家父長的文化が残るガーナ北部では、女性は家計に関わる決定の場で、往々にして排除される傾向がある。後述する先行事業においては、女性が起業家として、栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売と乳幼児への栄養普及を担い、収入創出を図ってきた。夫の収入からの支出については妻に権限がないため、女性は販売で得た収入から、子どもの学費やビジネスの拡大に自由に投資することが可能となり、そして、夫を含めた家族は、彼女らが得た収入で家計が助けられることで、将来的には貧困から脱するきっかけとなってゆく。女性の経済的なエンパワメントが、ジェンダーの平等を進め、生活の向上に大きく寄与することから、本事業においても、継続して女性の起業家育成を実施する。 (ウ) 先行の支援事業：＜先行事業の詳細については別紙2を参照＞ 2012年の先行事業に先立ち、2010年に味の素はJICAの協力準備調査（BOPビジネス促進）にて、事業準備調査を実施した。ガーナ大学や援助機関、国際NGOと協働し、乳幼児に不足しがちな栄養素を補う、離乳食用サプリメントを開発。さらに現地政府のネットワークを活用しながら栄養教育及びマーケティングを実施した。商業・ビジネスモデル調査では女性起業家を活用した販売モデル及びケア・ガーナでのプロモーションが効果をあげているという結果を得た。⁶ その後、北部州イースト・マンブルーシー郡では、2012年4月から味の素及びGAIN（Global Alliance for International Nutrition）との協働で「ソーシャル・ビジネス事業 Good Growth Project」を実施してきた。この先行事業では、2歳未満児の栄養改善を目的として、栄養補助サプリメント「ココプラス」を商品化し、女性起業家を通して販売網を構築してきた。併せて、村内貯蓄貸付組合（VSLA：Village Saving and Loan Association）⁷、女性起業家や
--	---

⁶ http://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/BOP/case/ajinomoto.html
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/12149282.pdf>

⁷ 村内貯蓄貸付組合とは：20-25人の女性がグループを組織し、各自が少額の現金を預けグループで管理する。女性はグループで管理する資金から融資を受けることで、農産物加工、販売、塩などの小分け販売等、それぞれが自分のビジネスを起業することが可能となる。自分の村や近隣の村の住民がビジネスの顧客となる。

	ヘルスボランティアを通して、対象地域の住民を動員し、2歳未満時の栄養についての意識付けと理解の促進を図り、栄養事情の改善に必要な知識と行動を対象地域に根付かせることに成果をあげてきた。2014年には、スケール・アップに向け、南部では通常の小売市場での販売と連携したモデルとマーケティング・コストの効率化を検討し、販売・物流体制を構築する現地事業法人組織の検討を踏まえた上で、2015年4月以降に本格販売の開始ができる体制の構築を目指してきた。 栄養補助サプリメントは栄養価を付加する点において大きな力となる。しかし、その価値を活かすためには、栄養啓発の知識(Awareness message : 知識)と効果的な食事の摂取方法(Feeding practice : 行動)を、保護者を含め広く子どもの周囲の人間が身に付けていることが不可欠である。よって、本事業では、先行事業と同様のアプローチを適用しつつ、より栄養啓発と食習慣の改善にかかる活動コンポーネントに焦点をあて強化する。また、先行事業でも成果をあげてきた女性の経済的エンパワメントをより促進するため、女性起業家の育成の拡大を図る。
(3) 事業内容 <事業の関係図については別紙3を参照> <各活動の実施頻度及び参加者詳細については別紙4を参照>	本事業では、事業対象地域北部州イースト・マンプリューシー郡の60コミュニティ内の、約4,370名の2歳未満児の子ども、約25,690名の保護者ら(女性約13,120名、男性約12,570名)及び約3,000名の新旧の村内貯蓄貸付組合員(VSLAメンバー)を対象に、コミュニティに対して以下の活動を実施し、2歳未満児の栄養改善に繋げる。 直接的には上記が対象受益者であるが、栄養教育係、コミュニティ・ヘルス・ボランティア、男性栄養啓発員等のコミュニティ・ワーカー約390名も各活動で重要な役割を果たす。活動の成果が将来的に広く対象地域内に広がることで、間接的には対象コミュニティ内約78,078名が裨益する。 (ア) 乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の栄養啓発 <u>活動①：コミュニティ・ヘルス・ボランティア(CHV)を対象とした栄養普及研修の実施</u> 1年次には、当財団が、60コミュニティから各2名、計120名のコミュニティ・ヘルス・ボランティア(CHV)を各コミュニティ・リーダーと協議して選考する。また、彼らを研修して、ガーナ保健局と共同開発する「カウンセリングカード」を利用して栄養情報を普及できるようにする。ガーナ保健局イースト・マンプリューシー郡職員が3日間の研修を5つの地域(sub-district)に分けて各地で開催する。研修では、コミュニティ・ヘルス・ボランティアが、全国で推奨される栄養、現地方言(Mampruli)による「カウンセリングカード」の主要メッセージ、コミュニティ内での基本的な対人コミュニケーション等を習得する。 <u>活動②：村内貯蓄貸付組合(VSLA)の組合員のうち栄養教育係(Peer educators)を対象とした栄養普及研修の実施</u> 1年次には、当財団が、新規120及び既存30の村内貯蓄貸付組合(VSLA)の中から栄養教育係(Peer educators)計150名を選考する。選考基準は、積極的な組合員であること、組合内で優れた対人スキルと関係性を持つこと、組合会合において乳幼児の栄養を話し合う場をリードできること等である。また、彼らを研修して、ガーナ保健局と共同開発する「カウンセリングカード」を利用して栄養情報を普及できるようにする。研修内容は上記活動①と同じである。 <u>活動③：男性啓発員を対象とした栄養普及研修の実施</u> 1年次には、当財団が、60コミュニティの中から各男性2名、計120名の男性を各コミュニティ・リーダーと協議して選考する。選考基準は、積極的に関与できる男性であること、コミュニティ内で優れた対人スキルと関

	係性を持つこと、男性会議において乳幼児の栄養を話し合う場をリードできること等である。また、彼らを研修して、「お父さんポスター」を利用して定例の男性会議において出席する男性たちの対話や議論を活性化できるようにする。当財団が2日間の研修を5つの地域（sub-district）に分けて各地で開催する。研修では、各地で男性が、家族の健康について主要な問題や課題を議論し、「お父さんポスター」の主要メッセージを理解し、各コミュニティ内での男性の議論をいかにリードして議論を活性化するためのアクションプランを策定する。 <u>活動④：上記活動①～③の研修を受けた各栄養啓発員を対象とした毎月の振り返りの会議の開催</u> <u>活動⑤：ベースライン調査の実施</u> 現時点での、乳幼児の栄養状態や保護者の栄養についての知識レベル等の状況を把握し、今後の成果を測るため、事業の本格的な実施の前に指標となる情報を収集する。 <u>活動⑥：カウンセリングカードの再開発と父親ポスターの開発</u> 先行事業において、ガーナ保健局と共同で、乳幼児の栄養と健康に関する情報を盛り込んだカウンセリングカードを開発した。先行事業での教訓等を踏まえてその教材を再開発する。また、父親に向けて啓発する父親ポスターも新たに開発する。開発する教材は、識字能力が低い、または非識字者であっても理解ができるように、絵から栄養啓発メッセージが想起でき、かつ声を出して言えるように、スタッフが対面で口頭での反復練習を繰り返す等の配慮をしている。 <u>活動⑦：保護者を対象とした CHV、栄養教育係、男性啓発員による乳幼児の栄養啓発メッセージに関する教育セッションの開催</u> 村内貯蓄貸付組合（VSLA）定例会議、男性会議、子どもの健康福祉会議において、子どもの栄養啓発メッセージと食習慣について話し合う機会をもつ。 <u>活動⑧：郡地方自治体との事業開始会議の開催</u> <u>活動⑨：コミュニティ・リーダー及び男性を対象とした乳幼児の栄養と健康に関する理解促進のためのコミュニティ全体会議の開催</u> コミュニティが参加するコミュニティ全体の会議を2年次以降に開催する。 (イ) 乳幼児の保護者らを対象とした乳幼児の食習慣の改善 <u>活動①：栄養教育係を対象とした調理実演のための TOT (訓練者養成) 研修</u> <u>活動②：保護者らを対象とした適切な食事の摂取習慣に関する調理実演会の実施</u> イースト・マンブルーシー郡農業開発部の女性農業課と協力して、研修を受けた組合員（上記（ア）活動②の栄養教育係（Peer educators））が調理方法を改善するための調理実演会を開催する。四半期ごとに開催し、三色栄養素の取り方、野菜の調理法、タンパク質を増す食事、大豆レシピ、鉄分を増す食事などを学ぶ。試食会の後には必ず参加した保護者ら全員にその場で調理の実践をしてもらう。なお、食材のみを当該事業が負担し、調理用品、燃料、作業補助員は各コミュニティが用意する。 <u>活動③：栄養啓発メッセージを普及するための演劇グループの設立</u> 各コミュニティから有志6名を募り、演劇グループを作る。当財団スタッフの指導の下、各演劇グループは調理法の改善やカウンセリングカードからの主要な栄養メッセージを盛り込んだ30～45分の劇を企画しリハーサルを繰り返す。 <u>活動④：演劇グループを対象とした四半期リハーサルの開催</u> <u>活動⑤：保護者らを対象とした演劇グループによる寸劇の実施</u> 寸劇は四半期ごとに開催される。寸劇後には必ず当財団スタッフが10個
--	--

	の質問をして保護者ら参加者の理解度を確認する。 <u>活動⑥：ソーシャル・ビジネス商品(栄養補助サプリメント「ココプラス」)</u> <u>を販売する既存の卸との契約更新</u> 先行事業では、13 のコミュニティに近い比較的大きな村 (Nalerigu) にある 2 つの卸 (HUB) と契約した。本事業の対象コミュニティも含まれるため、その契約を更新する。 <u>活動⑦：ソーシャル・ビジネス商品(栄養補助サプリメント「ココプラス」)</u> <u>を販売する新規の卸の研修・契約締結</u> 本事業の対象コミュニティを考慮し、新たな 3 つの卸を選定し契約を締結する。また、当財団が卸に対して女性起業家 (VBE: Village-Based Entrepreneur) と同様な研修 ((イ) の活動⑧の内容) を行う。 <u>活動⑧：ソーシャル・ビジネス商品(栄養補助サプリメント「ココプラス」)</u> <u>需要創出を図る女性起業家の育成</u> 1 年次には、(ア) の活動②の組合員の中からの当財団が、女性起業家 (VBE: Village-Based Entrepreneur)、計 150 名を選考する。選考基準は、積極的な組合員であること、組合内で優れた対人スキルと関係性を持つこと、乳幼児の栄養を普及しながら栄養補助サプリメント「ココプラス」等のソーシャル・ビジネス商品を販売促進できること等である。また、VBE は(ア) の活動②にて、乳幼児の栄養啓発メッセージを伝播するための研修をすでに受けている。 <u>活動⑨：活動⑧で育成した女性起業家による「ココプラス」の需要創出</u> 各コミュニティにて特定の日に「マーケットの日」を開催し、農作物や商品を持ち寄り販売する。この販売の場では、ソーシャル・ビジネス商品(栄養補助サプリメント「ココプラス」)の販売も行い、販売と併せて購入者に乳幼児に関する栄養啓発メッセージも伝播してゆく。また、他のコミュニティの人々も訪れることで、ビジネスチャンスの拡大も期待される。 (ウ) 女性の経済的エンパワメント <u>活動①：村内貯蓄貸付組合 (VSLA) の設立とモニタリングに協力してくれる現地パートナー団体を対象とした VSLA の仕組みに関する研修の実施</u> 当財団は、村内貯蓄貸付組合 (VSLA : Village Saving and Loan Association) の設立・モニタリングに協力してくれる現地パートナー団体のスタッフを対象に VSLA の仕組みに関して研修を行う。 <u>活動②：VSLA の設立と活動に関するコミュニティ・リーダーを対象とした理解促進ワークショップの開催</u> <u>活動③：VSLA の設立と活動に関するコミュニティを対象とした理解促進ワークショップの開催</u> <u>活動④：新規の村内貯蓄貸付組合 (VSLA) 120 組織の設立と VSLA 運営研修の実施</u> 60 の各コミュニティに最大 2 組合まで村内貯蓄貸付組合 (VSLA) を設立する。なお、コミュニティの選定にあたっては、実際に対象候補となるコミュニティを訪問し、VSLA の設立に対して前向きであり、かつ栄養補助サプリメント「ココプラス」への関心を有する 60 のコミュニティを最終的に選定した。当財団は、現地パートナーの協力を得て、コミュニティ・リーダーの理解を得ながら、組合員の研修を行う。各組合は 20~25 名で構成されるため、計 2,400~3,000 名の女性がビジネス機会を得ることになる。 <u>活動⑤：ソーシャル・ビジネス商品(栄養補助サプリメント「ココプラス」)</u> <u>を販売促進する女性起業家の育成 ((イ) の活動⑧と同じ)</u> 栄養補助サプリメント「ココプラス」の需要創出により乳幼児の栄養改善に寄与するとともに、「ココプラス」の販売により、女性の収入向上・創出
--	---

	が図れる。
(4) 持続発展性	本事業では、子どもの栄養改善は、子どもの母親の責任とする風潮を払拭する取組が様々なレベルで行われる。その一つが男性の巻き込みであり、もう一つが、コミュニティのリーダーに子どもの栄養は地域全体の責任であるという認識を強く持ってもらい、リーダーが率先してコミュニティ全員の意識付けを図ることにある。地域の子どもの栄養改善に責任を持つという認識をコミュニティ全体が共有することは、事業効果の持続性には大きな強みとなる。さらに、栄養普及において重要な役割を担うコミュニティ・ヘルス・ボランティアや村内貯蓄貸付組合（VSLA）は事業終了後も存続するため、その組織体制とリソースを有効に利用することで、地域全体への栄養と食習慣に関する知識と技術の拡散と保持が期待される。 また、本事業はすべての活動を、ガーナ保健局、北部州イースト・マンブルーシー郡の地方政府、そして住民との連携のもと実施する。事業期間をとおして、研修活動や各種会議に地方政府スタッフも参加し、活動の意義と成果について理解促進を図る。更に、ガーナ保健局と農業開発部は、本事業で実施する栄養啓発用の研修や、栄養啓発メッセージの普及を目的とした教材開発に参加・協力をしている。このように、地方政府側も活動に直接参加することで、事業終了後も更なる栄養改善手段の工夫に向け、地方政府とコミュニティとの協力体制の維持が期待される。 本事業終了後も、CARE・ガーナ事務所を通して、他事業のリソースを活用しモニタリングを行い、事業効果の持続と自立発展性に配慮する。 栄養補助サプリメント「ココプラス」のようなソーシャル・ビジネス製品は可視性が高いことから、一旦、コミュニティに受け入れられ流通すると、コミュニティにおいて栄養問題が認識されやすくなるという利点がある。子どもの栄養を象徴する商品の定着は持続発展性に大きく貢献するものと期待される。
(5) 期待される成果と成果を測る指標	(ア) 乳幼児の栄養啓発メッセージと食習慣に関する栄養普及要員の育成 成果 1: コミュニティ・ヘルス・ボランティア (CHV)、村内貯蓄貸付組合 (VSLA) 内の栄養教育係 (Peer educators) 及び男性啓発員らによる栄養啓発メッセージの普及によって、乳幼児の保護者らが乳幼児の栄養と健康に関する知識を身に付けるようになる。 成果 1 を測る指標: 【1 年次】 1. 1: 2 年次以降に活用してゆく栄養啓発教材 (カウンセリング・カード及び父親ポスター) が開発される。 【2 年次以降】 1. 2: 訓練を受けた CHV によるカウンセリングカードを使用した乳幼児の栄養に関するセッションが 2 年次 3 年次を通して各 60 のコミュニティで 18 回は開催される。 1. 3: 訓練を受けた栄養教育係によるカウンセリングカードを使用した乳幼児の栄養に関するセッションが新規及び既存の 150 の VSLA において 2 年次 3 年次を通して 2,700 回 (18 回 × 150 VSLA) は開催される。 1. 4: 訓練を受けた男性啓発員による父親ポスターを使用した乳幼児の栄養に関するセッションが 2 年次 3 年次を通して各 60 のコミュニティで 18 回は開催される。 1. 5: CHV、栄養教育係、男性啓発員らが普及する栄養啓発メッセージを受け取った保護者らの 50% は、乳幼児の栄養について理解を深めるようになる。 1. 6: 男性啓発員が主催する男性会議に参加した男性の 50% は乳幼児の栄養改

	善について積極的な意見と態度を表明するようになる。 1.7: 50%のコミュニティ・リーダーが健康と栄養に関係する社会・文化的慣習の問題点を理解し地域住民に積極的に改善を働きかけるようになる。 成果 1 の指標の確認方法: 1.1: モニタリング報告書 1.2: CHV、栄養教育係、男性啓発員対象の研修報告書 1.3: コミュニティレポート / 1.4: 事業開始会議のレポート 1.5: 参加者リスト / 1.6: 配布記録 1.7: CHV、栄養教育係、男性啓発員へのフォーカスグループインタビュー(栄養啓発メッセージの普及能力の調査) 1.8: 保護者らへの満足度・理解度調査(インタビュー式) 1.9: コミュニティ・リーダーへのフォーカスグループインタビュー(関与レベルの調査) 1.10: ベースライン調査報告書及び事業評価報告書 (イ) 乳幼児の食習慣の改善 成果 2: 乳幼児の保護者らが食事の摂取方法について学び、適切な食習慣を実践できるようになる。 成果 2 を測る指標: 【1 年次】 2.1: 栄養啓発の普及を目的とした演劇グループが各対象コミュニティで設立される。 2.2: 栄養補助サプリメント「ココプラス」の需要創出のため、既存、新規の村内貯蓄貸付組合(VSLA)内から 150 人の女性起業家(VBEs)が訓練を受け育成される。 【2 年次以降】 2.3: 調理実演が栄養教育係によって四半期毎に 60 回開催される。 2.4: コミュニティメンバーの 30%が調理実習に参加する。 2.5: 寸劇がコミュニティ演劇グループによって四半期毎に 60 回開催される。 2.6: コミュニティメンバーの 30%が寸劇に参加する。 2.7: 調理実演や演劇実演に参加した保護者らの 50%は家庭内で栄養価を高められる調理方法を実践するようになる。 2.8: 毎月 60 回の需要創出イベントが実施される。 2.9: 2 年次の終わりまでに毎月 19,200 個の「ココプラス」が売られる。 2.10: 「ココプラス」を購入した世帯で、50%の 2 歳未満児が週 4 回、「ココプラス」を定期的に摂取するようになる。 成果 2 の指標の確認方法: 2.1: モニタリング報告書 2.2: 栄養教育係への TOT(訓練者養成)研修報告書 2.3: 卸のプロファイル / 2.4: VBEs のプロファイル 2.5: 参加者リスト 2.6: 家庭訪問による直接観察 2.7: 保護者らへの満足度・理解度調査(インタビュー式) 2.8: 栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売記録 2.9: ベースライン調査報告書及び事業評価報告書 (ウ) 女性の経済的エンパワメント: 成果 3: 女性が家族の福祉の向上のために収入創出活動に参加するようになる。 成果 3 を測る指標: 【1 年次】
--	--

	3.1 : 2 年次以降の村内貯蓄貸付組合 (VSLA) の本格始動に向け、120 の新規 VSLA に対して運営研修が実施される。 【2 年次以降】 3.2 : 年に 60% の組合員が村内貯蓄貸付組合 (VSLA) から借入する。 3.3 : 50% の VSLA 内女性起業家 (VBEs) が栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売を通して収入を向上させる (月間売上高の平均 GHS25~30/ 利益の平均 GHS3.8~5.0)。 成果 3 の指標の確認方法 : 3.1 : パートナー団体対象の研修報告書 3.2 : パートナー団体からのモニタリング報告書 3.3 : VBEs へのフォーカスグループインタビュー 3.4 : VBEs の夫とのフォーカスグループインタビュー 3.5 : 家庭訪問による直接観察 3.6 : 栄養補助サプリメント「ココプラス」の販売記録 3.7 : 事業評価報告書 (エ) 成果を引き出すためのモニタリング・評価 : <モニタリング・評価の詳細については別紙 5 を参照のこと> 事業期間を通して、活動が継続的に変化と結果をもたらしているかについて注視し、事業効果を最大限に引き出してゆくため、モニタリング・評価を活動に組み込んでゆく。
--	---